



子育て伴走「だいじょうぶ！」通信 No. 17

～みんな大切 笑顔あふれる家庭とこども園に～



R6.12.20 やすぎこども園 園長 福島朗博

◆園風景から ～秋の園庭遊びに彩りそえてくれた朝顔～



9月によやく次々と開花！



11月まで色水遊びが大人気！



12月枯れた後 種取りやつる相撲遊び

今年は朝顔の種をまいて上手くいかなかったので、7月末に苗を6本買って育てました。猛暑のせいなかなか伸びなくて半分あきらめかけた頃の9月になって、ようやくつるがぐんぐん伸びて、花も次々と咲いてくれました。

園庭で遊ぶ子どもたちを見守るようにいっぱい咲いて、子どもたちも花をとって色水遊びに長らく興じることができてよかったです。枯れた後も実の種取りをしたり、二人でつるを絡めて引っ張り相撲をしたり・・・最後まで子どもたちが満喫できてよかったな、昔よくこんな草花遊びしたなと懐かしく眺めていた思い出深い秋となりました。

◆安来警察署のおまわりさんの交通安全教室（つき&そら組）

10月に安来警察署のご協力により、本園では初めての交通安全教室を開きました。子どもたちは始めに動画を観て、駐車場でおまわりさんと約束したことを守って歩行練習をしました。みんなの大好きなパトカーにも乗りましたよ。安来市内では、駐車場の事故が全体の3割を占めるそうです。こども園での送迎はもとより、ショッピングセンターなどでも子どもの安全に努めていきましょう。参加された保護者さんからは「親子で交通安全の意識が高まった」と感想をいただきました（一部紹介します）。来年度は春に行く予定で計画していますので、今回参加できなかった方はぜひご参加ください。



手をつなげないときはズボンつかんで歩いてね

交通安全教室でおまわりさんと約束したこと

- 外へ出るときは一人で出かけません
- 道路を渡るときは横断歩道を渡りましょう
- 信号は黄色も赤も「とまれ！」
- 車から降りるときは自分でドアを開けません
- 駐車場も車は走っている。駐車場や道路を歩くときは大人と手をつなぎましょう
- 車の中では命を守ってくれるチャイルドシートに必ず座りましょう

また、年末年始は、家族で車に乗ったり歩いたりする機会が増える時季と思いますので、いっそう安全にお気をつけください。



運転手からよく見えるように手を上げて！

警察官の方から話を聞くのは親が言うよりも耳に入りやすかったような気がします。駐車場で手をつなぐとか左右見るとか簡単なことだけど事故が一番多い場所なのは驚きました。その日から子どもの方から手をつなごう！と手をつないで歩いています。一緒に参加して危険性を改めて理解できてよかったなと思いました！（つき組保護者）

親子共々とてもためになる教室でした。駐車場では必ず手をつないで歩く。それができなければズボン等を子どもにつかませてコントロールできるようにすることが大事と学びました。さっそく買い物の荷物で両手がふさがっているときに実践しました。親子で教室に参加したからこそ命を守るためにどう行動すればよいかすぐに行動に移すことができたのだと思います。企画していただき、ありがとうございました。（そら組保護者）

中央のイラスト吹き出しは「子どものねがい子どものなやみ」白石正久著（クリエイツかもがわ）より参照しました



◆「イヤイヤ期の子育ては大変だよね」（ほし組&にじ組の保護者座談会）

9月にイヤイヤ真最中の子育てに励んでおられる8名のお父さんお母さんが参加くださいました。座談会では、「家に帰ったら家事中に、だっこ〜！と寄ってくる。疲れてるから勘弁して〜！と思う自分に罪悪感」の声に共感が寄せられました。また「忙しい朝の支度中や出発時に登園拒否されて困り果てて…みなさんどうしてる？」と話がふられたりして盛り上がり、最後には「わが子のかわいいところ♡」をアピールしてもらって締めくくりました。

子どもの**自我の発達**の様子をイラストで紹介します。子どもの**ココロ♡の成長**はすごいな！と思います。子ども自身もその育ちの過程で葛藤しているのでどうしていいかわからなくて、大人が大変だわと思ってしまうくらい強烈なパワーになっているのですね。

【1歳半】

【2歳】

【2歳後半】

【3歳】

「自分で決めたんだわ！」という心が育つ

「比べる力」出てきたけん、「少しなら我慢して譲れるよ」

「できるーできない」がわかってきたけん、「できなかったらいやだな」と緊張や不安で苦手意識が出てきちゃって…

「よりよい自分を選びたいんだな」。でも友だちとの力関係を感じて「がんばりたいけど、がんばれないんだわ」

心の中で自分の意図と相手の意図を並べてとらえるようになり、自分の意図が通らないと駄々こねして体で主張します。「じゃあ、一緒に散歩行こうか」と立ち直りのきっかけを。

大人の言葉による支えや「大丈夫だよ」というまなざしが大切。得意なことを見出してあげて「すごいね！」と自信をもたせましょう。

心の中の前向きな葛藤を認めて「車とられて悔しかったのによく我慢したね」「本当はできたんだよね」「本当はごめんねと言いたかったんだよね」と言葉にしてあげると救われて「よりよい自分」を選べたと願いがかなって落ち着きます。



「きれいねえ」「おいしいねえ」など大人との共感関係で満たされる経験を親自身も心豊かに楽しみましょう。情緒豊かな子に育ちゆきます。



子どもは情緒が発達していくのに、まだ自分の感情をうまく言葉にできない時期です。それで表現が大やんちゃになるのです。子どもの気持ちを**なぞって**あげて（これが子どもの気持ちを**受け止める**ことになり、子どもはわかってもらえたと思って落ち着く）、自分自身の葛藤でもやもやの感情を「わからないもの」から「わかるもの」に変えて、自分でコントロールできるようにしていきたいですね。そうした**自己コントロール**を育むには、親に精神的に満たされる「**基本的信頼**」が土台になります。「イヤ」は大きくなりたい願いと**大きい自分を認めてほしい願い**であり、子どもはほどほどによい子で、ほどほどにやんちゃな子であることが望ましいのです。参加された皆様へありがとうございました。（感想の一部を紹介します）

このところわが子のイヤイヤする姿に「うちだけかな、親の対応の仕方が悪いのかな」と思うことがありましたが、今回の座談会で他の方のお話をお聞きすることができて、うちだけではないんだなと少しホッとしました。受け止めて時には甘えさせること、危ないことはしっかりと伝えることが大切なんだということを学ばせていただきました。が、帰ってわが子を接していると、どうしたらよいのかと思う場面も多々あり、バランスが難しいなあと感じています。また今後もいろいろとお話できる機会があるとありがたいです。

日々家庭で子どもと向き合っていると頭の中の整理が追い付かない場面が多々ありますが、話を聞いていったんリセットできた気がします。何でもそうかもしれませんが、一度立ち止まって冷静になることは大切に感じました。今回のイベントはとても参考になりましたし、日頃お会いできない保護者の方々と共感共有できて有意義な時間でした。本当にあつという間でしたので、もっと時間があるといいなと思いました。

同じような悩みだったり違う考え方だったりいろんな意見を聞けて有意義な時間でした。そして何より楽しかったです。また機会があったら参加したいと思いました。